

# 噴火災害を知る。犠牲者を偲ぶ。後世に伝える。 地形の変貌が見れるジオサイト。

平成2年11月に約200年ぶりに噴火した雲仙普賢岳は、土石流や火砕流などを発生させ、生活や財産に甚大な被害を与えました。

その後、街は復興し、平穏な生活は戻りましたが、山頂には今なお大きな溶岩ドームが存在し、崩壊の危険性が指摘されています。この場所では、噴火による地形の変貌を間近で見ることが出来ます。(当地で亡くなられた方への配慮等から普段は立ち入り禁止。防災を目的とした場合のみ受け入れます。)

・見学日：12月29日～1月3日除く 9:00～16:30

・見学場所：長崎県島原市



定点に迫る火災流



溶岩ドーム形成(1億m<sup>3</sup>)で山頂が240m、火砕流堆積物(1億7千万m<sup>3</sup>)で最大で170m地盤が高くなりました。

地形が大きく変貌しました。



## 申し込み方法

### 1)申し込み先：

住所：長崎県島原市南下川尻町7-4 国土交通省長崎河川国道事務所 砂防課  
 電話：0957-64-4171(代表) FAX：0957-63-0914  
 長崎県島原市平成町1-1 雲仙岳災害記念館内 島原半島ジオパーク協議会事務局  
 電話：0957-65-5540(8:30-17:15) FAX:0957-65-5542 E-mail：info@unzen-geopark.jp

### 2)申し込み方法：

①住所、②氏名、③連絡先電話番号、④希望見学日、⑤見学者人数(大人、子供)を記入のうえ、FAX等により、2週間前までにお申し込み下さい。

### 3)その他

・防災目的のみ受付(観光目的不可)。まずはお電話でお問い合わせ下さい。